

令和3年度当初予算案 地域振興計画推進費の概要

京都府中丹広域振興局

▽ 予算額

中丹広域振興局地域振興計画推進費 34,800千円（前年度同額）

▽ 概要

令和元年10月に策定した「中丹地域振興計画」に基づき、「子育て環境日本一」や「食の京都」をはじめとする総合的な視点による地域づくりを進めるため、計画に掲げた地域の将来像の実現に向けて、3分野の具体的施策を推進する事業を計上

- ・地域の将来像：「心つながる田舎の魅力と都市機能の両方を享受し、海・里山・まちを舞台に求める暮らしが実現できる地域を」
- ・計画2ヶ年度目の予算（計画期間：令和6年3月までの概ね4年間）

1 若者が定着したくなる地域づくり事業費 (13,800千円)

<1-① 環境整備・移住定住促進>

▼ UIターン等により若者等が地域に定着したくなる環境整備及び将来に希望を持ち健やかに暮らせる環境整備に資するため、安心して子どもを産み育てることができる環境整備や地域での働き方・暮らし方の発信、移住希望者の掘り起こしと地域とのマッチングによる移住・定住の促進に取り組む

<1-② 働く場づくり>

▼ 地域産業の振興と雇用の促進に資するため、地元中小企業の育成、働く場の創出や人材の確保及びマーケットニーズに対応した「儲かる農林水産業」を推進

2 交流拡大・関係人口創出事業費 (15,825千円)

▼ 交流拡大と関係人口創出に資するため、中丹地域の自然や地域文化、特産品等の地域資源の魅力向上に取り組み、海・森の京都DMOとも連携して、地域のファン（応援団）を拡大

3 災害に強い地域づくり事業費 (5,175千円)

▼ 安心・安全な暮らしを支える社会基盤整備と災害対応力の強化に資するため、森林から河口までの「総合的な治山・治水・流域対策」を推進するとともに、避難に関する住民意識の向上や地域ぐるみでの取組を支援 等

令和3年度当初予算案主要事項説明

中丹広域振興局

事業名	<p style="text-align: center;">1 若者が定着したくなる地域づくり事業費 ～「育・職・住」が充実し若者が定着したくなる持続可能な地域づくり～</p>		
予算額	13,800千円	新規・拡充・継続	継続（一部拡充）
<p>事業内容</p> <p>〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕</p>	<p>< 1-① 環境整備・移住定住促進 > (7,200千円)</p> <p>▼ 趣 旨</p> <p>Uターン等により若者等が地域に定着したくなる環境整備及び将来に希望を持ち健やかに暮らせる環境整備に資するため、安心して子どもを産み育てることができる環境整備や地域での働き方・暮らし方の発信、移住希望者の掘り起こしと地域とのマッチングによる移住・定住の促進に取り組む</p> <p>▼ 事業内容</p> <p>(1) 「中丹子育て未来づくり100人会議」事業 【拡充】3,000千円</p> <p>「京都府子育て環境日本一推進戦略」の取組や各市とも連携し、令和2年2月に立ち上げた「中丹子育て未来づくり100人会議」の枠組みで、子育て支援者向けの研修会や働きやすい職場づくりに向けた企業ワークショップ等を開催するとともに、子育て支援情報を発信</p> <p>(2) 若者地域定着促進事業 2,000千円</p> <p>若者の定住、中小企業の人材確保を支援するため、高等学校と連携し、企業の高等学校への出前講座や生徒の企業現場見学会を実施するとともに、地域の高等教育機関とも連携して、地域で活躍する若者の働き方・暮らし方を発信</p> <p>(3) 「中丹暮らし」魅力発信事業 2,200千円</p> <p>各市と連携した地域の魅力発信に加え、移住実践者から中丹地域での実際の暮らしの話が聞ける都市部でのセミナーや移住実践者を訪問する現地ツアーを実施し、地域と移住希望者のマッチングによる移住・定住を促進するとともに、事業者等の見守り活動「中丹ふるさとを守る絆ネット」のPR等により安心・安全な暮らしを確保</p>		
担当部・所	地域連携・振興部／健康福祉部（中丹西・中丹東保健所）／農林商工部		


令和3年度当初予算案主要事項説明

中丹広域振興局

事業名	<p style="text-align: center;">1 若者が定着したくなる地域づくり事業費 ～「育・職・住」が充実し若者が定着したくなる持続可能な地域づくり～</p>		
予算額	13,800千円	新規・拡充・継続	継続（一部新規）
<p>事業内容</p> <p>〔目的対象方法等〕</p>	<p>< 1-② 働く場づくり > (6,600千円)</p> <p>▼ 趣 旨</p> <p>地域産業の振興と雇用の促進に資するため、地元中小企業の育成、働く場の創出や人材の確保及びマーケットニーズに対応した「儲かる農林水産業」を推進</p> <p>▼ 事業内容</p> <p>(4) 新産業イノベーション推進事業 【新規】1,000千円</p> <p>企業の新商品開発、性能の向上、効率的な生産プロセス等の新たな価値創出の促進を目指し、地域の高等教育機関や企業が有する多様なシーズをつなげ、新たな価値を創出するための交流の場を創出</p> <p>(5) 儲かる農林水産業推進事業 (5,600千円)</p> <p>ア 「万願寺甘とう」「中丹茶」等生産支援事業 2,600千円 京のブランド産品である万願寺甘とう生産農家のICT技術導入等による経営力強化や、中丹茶等の生産力・品質向上等の農家経営所得増加・担い手確保に繋げるため、モデル園での講習を実施</p> <p>イ 「丹波くり」振興未来創造事業 2,500千円 丹波くりマイスター養成講座により生産振興を図るほか、「丹波くり」長期振興ビジョンの作成に向けた園地状況や生産者の意向に係る実態調査、丹波くり生産基盤調査により収集した園地情報のGIS化を実施</p> <p>ウ 野生鳥獣被害地域総合対策事業 500千円 シカ、イノシシ、サル等防護柵の保守点検や捕獲檻の見回りに関する講習会を開催するとともに、クマの誘因物除去指導や啓発看板を設置</p>		
担当部・所	農林商工部		

令和3年度当初予算案主要事項説明

中丹広域振興局

事業名	<p style="text-align: center;">2 交流拡大・関係人口創出事業費</p> <p style="text-align: center;">～「もうひとつの京都」の推進による交流の拡大と関係人口の創出～</p>		
予算額	15,825千円	新規・拡充・継続	継続（一部拡充）
<p>事業内容</p> <p>（目的 対象 方法等）</p>	<p>▼ 趣 旨</p> <p>交流拡大と関係人口創出に資するため、中丹地域の自然や地域文化、特産品等の地域資源の魅力向上に取り組み、海・森の京都DMOとも連携して、地域のファン（応援団）を拡大</p> <p style="text-align: right;"></p> <p>▼ 事業内容</p> <p>（1）中丹ファン（応援団）獲得拡大事業 【拡充】5,100千円</p> <p>新たに開設するまとめサイト「CO-KYOTO」や各種メディアを通じて、中丹地域の子育て、働き方、移住、観光・イベント、農家民宿等の地域情報を発信するとともに、ファムトリップを実施し、情報拡散や旅行商品造成等に繋げる。</p> <p>（2）中丹「食の魅力」発掘・発信事業 5,000千円</p> <p>「京都中丹いちおし商品」、「京都中丹認証ジビエ」等、地域の魅力ある食材及び商品の発掘、食材を活用した商品開発、販路拡大の支援に取り組むとともに、「食の京都TABLE」等の拠点施設で魅力発信・PRを実施</p> <p>（3）中丹スポーツトレイル推進事業 2,100千円</p> <p>京阪神等からの誘客を図るため、「自転車」「カヌー」「トレッキング」のコースやサポートステーション等の情報を一体的に集約しPRするとともに、登山地図アプリを活用した情報発信や協力店の拡充等を実施</p> <p>（4）広域連携推進事業 3,625千円</p> <p>さらなる観光誘客、交流拡大や地域特産品の生産・販売拡大を図るため、海・森の京都DMOをはじめ兵庫県や鉄道事業者等の多様な主体との連携により、「海の京都」「森の京都」「北近畿」エリアの広域観光地域づくりや「丹波ブランド」の活用・強化等に取り組む。</p>		
担当部・所	地域連携・振興部／農林商工部		

令和3年度当初予算案主要事項説明

中丹広域振興局

事業名	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;">3</div> 災害に強い地域づくり事業費 ～国土強靱化の推進による災害に強い地域づくり～		
予算額	5,175千円	新規・拡充・継続	継続（一部拡充）
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>▼ 趣 旨</p> <p>安心・安全な暮らしを支える社会基盤整備と災害対応力の強化に資するため、森林から河口までの「総合的な治山・治水・流域対策」を推進するとともに、避難に関する住民意識の向上や地域ぐるみでの取組を支援</p> <p>▼ 事業内容</p> <p>(1) 安心・親しみの流域づくり事業 1,000千円</p> <p>過去に内水被害が生じている府管理河川流域で実施した森林・ため池・田畑等も含めた流域全体の雨水貯留可能量等調査の結果を基に、関係者をはじめ流域住民全体での共有・意識啓発を行い、地域全体での浸水対策を推進 市が実施するかわまちづくり事業や森の京都DMO等関係団体と連携を図りながら、由良川に親しむ利活用方策を検討</p> <p>(2) 地域防災・減災ネットワーク事業 【拡充】3,400千円</p> <p>中丹地域独自に構築した住民から災害情報の提供を受け、災害対応機関で共有する災害情報システムの登録会員を拡大するための講習会等を開催し、行政対応の迅速化に繋げる。 防災士等派遣により、自主防災組織の水害等避難行動タイムライン作成を支援し、自助・共助による住民の避難行動を促進</p> <p>▼ その他</p> <p>○ 中丹地域振興計画推進費 775千円 有識者等で構成する中丹地域戦略会議の開催等</p>		
担当部・所	地域連携・振興部／農林商工部／建設部（中丹東・中丹西土木事務所）		